

案山子

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし

□□□□

※元気でいるか 街には慣れたか
友達 できたか
寂しくないか お金はあるか
今度 いつ帰る

城跡から見下ろせば 蒼く細い河
橋のたもとに造り酒屋のレンガ煙突
この町を綿菓子に 染め抜いた雪が
消えればお前がここを出てから
初めての春

手紙が無理なら 電話でもいい
「金頼む」の一言でもいい
お前の笑顔を 待ちわびる
おふくろに聴かせてやってくれ

※くりかえし

山の麓煙吐いて列車が走る
木枯らしが雑木林を転げ落ちてくる
銀色の毛布つけた 田んぼにぽつり
置き去られて雪をかぶった
案山子がひとり

お前も都会の 雪景色の中で
ちようどあの 案山子のように
寂しい思い してはいないか
体をこわしてはいないか

(間奏)

手紙が無理なら 電話でもいい
「金頼む」の一言でもいい
お前の笑顔を待ちわびる
おふくろに聴かせてやってくれ

※くりかえし

寂しくないか お金はあるか
今度 いつ帰る

案山子 1

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし

1 / 4

□□□■

元気でいるか 街には慣れたか
友達 できたか
寂しいか お金はあるか
今度 いつ帰る

城跡から見下ろせば
蒼く細い河
橋のたもとに造り酒屋の
レンガ煙突
この町を綿菓子に
染め抜いた雪が
消えればお前がここを出てから
初めての春

案山子 2

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし



手紙が無理なら

電話でもいい

「金頼む」の一言でもいい

お前の笑顔を 待ちわびる

おふくろに

聴かせてやってくれ

元気でいるか

街には慣れたか

友達 できたか

寂しいか お金はあるか

今度 いつ帰る

案山子 3

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし



山の麓煙吐いて列車が走る
木枯らしが雑木林を
転げ落ちてくる
銀色の毛布つけた
田んぼにぽつり
置き去られて雪をかぶった
案山子がひとり

お前も都会の 雪景色の中で
ちようど

あの案山子のように
寂しい思い してはいないか
体をこわしてはいないか
(間奏)

案山子 4

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし



手紙が無理なら 電話でもいい
「金頼む」の一言でもいい
お前の笑顔を待ちわびる
おふくろに聴かせてやってくれ

元気でいるか 街には慣れたか
友達 できたか
寂しくないか お金はあるか
今度 いつ帰る

寂しくないか お金はあるか
今度 いつ帰る